

## ◆ 響き合う庭～樹・石・花・風～



和の伝統と、下草花の植え替え等自分でも庭と関わり楽しめる洋の空間もあり、管理が簡単です。初夏にはヤマボウシの白い花、秋にはモミジの紅葉、冬には垣根に香りよいサザンカを楽しむことができます。石垣には熔岩という素材を用い、飛石は洋の枕木とし、軽量化に努め屋上庭園にも適しています。

- ①ヤマモミジ：落葉樹。樹形のみならず新緑から黄葉まで楽しめます。このもみじがあることで、全体に落ち着きを与えてくれます。夏には大きな枝を伸ばして、木陰を作り涼しい風をよび込んでくれます。
- ②道明寺灯籠：灯籠は文字通り灯(あかり)籠(かご)であります。日本には仏教の伝来と共に灯籠が伝来したと云われています。いにしえの時代を静かに感じていただければ、と思います。
- ③石積み：長野の熔岩を用いた野面積み。
- ④下草：コケ張り、冬越しパチュニア
- ⑤ヤマボウシ：5～6月頃、白い十字架型の花を咲かせます。秋には、赤い実をならせて少し甘く食べられます。
- ⑥サザンカ：花の色は紅。花の少ない晩秋から初冬にかけて咲き出し、お正月を過ぎても楽しめます。
- ⑦サツキ：常緑低木樹。大盃という品種で、5月頃ピンクの花が咲きます。低木ですが、樹齢は長く生命力と共に品格のある姿が魅力です。
- ⑧景石：鳥海石(安山岩)を用いています。何万年という時がもたらす風化した形状は無くしてはならない存在と言えるでしょう。